

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭61-18912

⑬ Int. Cl. 4

B 60 G 17/00
15/06
F 16 F 8/32

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)2月3日

8009-3D
8009-3D
7369-3J

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自動車の油圧式車高調整装置

⑯ 実 願 昭59-103589
⑰ 出 願 昭59(1984)7月9日

⑱ 考案者 森 永 鎮 太田市東長岡269

⑲ 考案者 黒川 亮悟 群馬県邑楽郡大泉町上小泉2014-13

⑳ 考案者 今福 芳夫 太田市長手390-5

㉑ 考案者 島田 英男 太田市下小林218-3-6

㉒ 出願人 富士重工業株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目7番2号

㉓ 代理人 弁理士 清瀬 三郎 外1名

㉔ 実用新案登録請求の範囲

(1) 下部を車輪支持部材に結合したシリンダ部材と、該シリンダ部材に摺動可能に嵌装され上部をトップマウント部材を介して車体部材に弹性的に結合したロッドと、該シリンダ部材とロッドとの間に設けられた圧縮コイルスプリングとからなるコイルスプリング式ストラット型車輪懸架装置において、上記圧縮コイルスプリングの上端部を支持するアッパスプリングシートをロッドに上下摺動可能に嵌装し、内部にプランジャを嵌装した油圧シリンダをロッドの上部に固着し、該プランジャの下端面がペアリングを介してアッパスプリングシートの上面を支持した構造とし、該油圧シリンダの油室内への油の給排手段を設けると共に、油圧シリンダ内に固定されプランジャの下降限界位置を規制するストッパリングに上記プランジャの回動を拘止す

る廻り止め手段を構成したことを特徴とする自動車の油圧式車高調整装置。

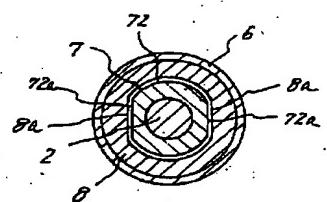
(2) 油圧シリンダは、ロッドに固着された内筒と車体部材に固着された外筒と該内筒と外筒との間に接合固着された弾性材とからなるトップマウント部材の上記内筒内に嵌装された状態でロッドに固着されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の自動車の油圧式車高調整装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す縦断正面図、第2図は第1図のA-A断面図である。

1…シリンダ部材、2…ロッド、3…トップマウント部材、4…コイルスプリング、5…アッパスプリングシート、6…油圧シリンダ、7…プランジャ、8…ストッパリング。

第2図



第1図

